

2025 年度

鴨川マリンキャンプ

保護者用ハンドブック



千葉 YMCA 環境・野外教育研究所

ごあいさつ

この度は、千葉YMCAサマーキャンプへご参加いただき、ありがとうございます。
YMCAは、1844年にロンドンで誕生し、現在では世界120の国と地域に広がり、社会の中で様々な青少年活動を展開しています。日本では1880年（明治13年）に東京にYMCAが設立されました。千葉YMCAは1971年（昭和46年）に設立され、語学教育、健康教育、野外教育、国際交流活動などの事業を千葉県内で展開して参りました。

YMCAのキャンプは1885年に北米YMCAで始まり、キャンプには「精神、知性、身体、社会性」のバランスのとれた成長をもたらす力があることに着目し、さまざまな研究を重ね、発展させてきました。日本では1920年（大正9年）に初めて教育的意図をもったキャンプを実施。以来100年にわたり、子どもたちの「限りなき成長」を願って多数のキャンプを行い、多くの子どもたちにかげがえのない体験を提供しています。

永年の経験からYMCAキャンプは、体験の中で学ぶことができるよう、キャンプの実施にあたって以下のことを大切にしています。

キャンプでは、小集団での共同生活を大切にしています。グループにはボランティアリーダーがついて、子どもたちと24時間行動を共にします。新しい仲間と出会い、大自然の中で力を合わせ、お互いを認め合い、一人ひとりが主役となるような独自の“小社会”を作っていきます。ボランティアリーダーは、主として大学生の青年たちです。安全に楽しくプログラムを実施できるよう理論や実技など多数のトレーニングを受け、数か月前から企画・準備を担います。先生や親とは違う、お兄さんお姉さんとの出会いは、YMCAキャンプの楽しさの一つです。

YMCAでは、食事、入浴、掃除の時間、朝の集い一つひとつが成長の糧となる大切なプログラムと考えています。楽しい生活の中にごく自然に成長の機会が用意されています。そして、ロケーションに合わせたウォータープログラム、ハイキング、ゲーム、キャンプファイヤー、野外料理、クラフトなど、年齢や興味に合わせた多彩な活動を、段階的かつ体系的に組んでいます。自然の中で仲間と一緒にさまざまな活動に挑戦することで、日常とは違う楽しさや達成感が得られます。生涯にわたるかけがえのない経験です。

楽しいキャンプ生活の中に、ごく自然に成長の機会が用意されている、それがYMCAキャンプです。安全に十分に配慮をしながら、夏のキャンプを実施して参ります。各ご家庭の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

(一財) 千葉YMCA
環境・野外教育研究所 所長
山添 仰

【ご紹介】



Y Camp 100 Stories
キャンプにまつわる100のYMCAストーリー



日本 YMCA 同盟機関紙 THE YMCA 2025 年 7.8 月号
OPINION「共に生きる」ためのレッスン
一寛容さが失われる時代に YMCA ができることー
文教大学人間科学部准教授 青山 鉄平氏

1. キャンプ実施要綱

キャンプ名	日程	宿泊場所	集合場所/時間	解散場所/時間	担当 スタッフ
鴨川マリン キャンプ	7/19(土) ~ 21 (月祝)	県立鴨川 青少年自然 の家 04-7093- 1666	流山 おおたかの森駅 7時 15分 京成千葉駅西口 そごう時計台前 9時 00分	流山 おおたかの森駅 18時 30分 京成千葉駅西口 そごう時計台前 16時 30分	松原 奈美 (まっつー) 小林 和弘 (かずっち)

※公共交通機関の時間に合わせて出発をいたします。車でお越しの方は余裕をもって集合をお願い致します。遅刻の場合は、先に出発をさせていただく事もございますので、予めご了承ください。

※公共交通機関の料金についてはYMCAでお支払いをします。

2. 集合解散場所について

◆流山おおたかの森駅東出口 ロータリー付近



集合場所付近の写真



流山おおたかの森駅東出口のエスカレーター or 階段 or エレベーターを下りた付近（赤丸）で集合を予定しております。集合時にはお手洗いをコンビニやおおたかの森 SC 内でお済ませの上でお越しく
ださい。
尚、短時間であればロータリー内に車を
停車する事は可能ですが、電車出発まで
待機を希望される場合は、お近くのパー
キングにお車をお留めの上でご集合くだ
さい。

解散場所付近の写真



ロータリー周辺の混雑状況により、荷物引き渡しのための車の停車場所が変わる可能性がございます。予定では前ページのマップの青丸周辺を予定しております。

尚、お車で迎えの方は、車の到着や子どもたちの到着（電車到着後のトイレなども含む）が遅れる場合もございますので、お近くのパーキングにお車をお留めの上でお待ち下さい。

◆京成千葉駅西口そごう時計台前

JR 千葉駅の南口を出て、京成千葉駅西口そごうの時計台で集合を予定しています。



※お車で越しの方は、近隣のコインパーキングに駐車してください。集合解散場所付近への路上駐車は、ご遠慮ください。

◆集合時の提出物と確認事項について

【ご提出物】

- ① 出発7日前調査票
- ② 常用薬のある方は、1回毎小分けにしてご提出ください。処方の方について担当リーダーが確認を致します。塗り薬についても同様です。また日焼け止めや保湿クリーム・虫よけ等については、自己管理でも問題ございません。こちらでは活動前やお風呂後にお声掛けし、塗れないお子様にはお手伝いを致します。

【確認事項】

- ① 体調の確認
- ② お子様のご様子について（短時間の対応になります。ご了承ください。）
- ③ 大きな荷物をお預かりします。後ほど車で宿泊施設まで運搬をいたします。

3. プログラム予定

	1 日目	2 日目	3 日目
午前		大山千枚田 里山遊び	草木染体験
午後	クラフト/海遊び①	自由時間/海遊び②	振り返り
夜	BBQ&花火	キャンプファイヤー	

《プログラムについて》

- ・上記予定は、天候その他の理由により、変更となる場合がございます。
- ・屋外プログラムの際に「日焼け止め」「虫除け」のお声掛けをさせていただきます。
1人での使用が難しい場合は、お手伝いを致します。

《海プログラムについて》

- ・海プログラムでは遊びに参加しないスタッフを配置し安全に留意して活動を行います。海でのプログラムは全員ライフジャケットを着用します。
- ・クラゲなどからお子様の身を守る為に水着の上にラッシュガードやタイツなどを着用し肌の露出を極力控えることを推奨します。(特に下半身)
- ・砂浜には岩が隆起した箇所もある為、海プログラム中はマリンシューズ（濡れてもいい靴）の着用を必須とします。
- ・海で使用した物はハンガーに掛けて所定の場所で乾かします（洗濯不可）

《大山千枚田 里山遊びについて》

- ・大山千枚田での活動はNPO法人大山千枚田保存会の方がこどもたちと一緒に活動し、里山の自然について教えてくれます。
- ・活動中の服装については指定があり、帽子必須、上は半袖可（袖なし不可）、下は長ズボン必須となります。(田んぼの周辺を散策する為、長い靴下を着用し足元の露出がないようにお願いします)

4. 事前電話について

キャンプ前にリーダーより最終確認のお電話をいたします。お子様の健康状態の確認、お子様と担当リーダーとの会話などを目的としております。ご都合の合わない方は、担当ディレクターまでご連絡ください。ただし、別日程をご希望の場合は、事情によりご希望に添えない場合もございますこと、ご了承ください。

キャンプ名	日程	時間帯
鴨川マリンキャンプ	7/17（木）	夕方～夜

※事前電話は順次行ないます。各ご家庭への電話がけに時間差が生じます。ご不在の場合には、何度かお電話をさせていただきます。別日を希望の場合はメールにてご連絡をお願い致します。

5. 持ち物 ※持ち物には全て名前を書いてください。

大きいリュックに入れるもの		
持ち物	数量	備考
Tシャツ・ズボン	日数分+1 セット	お子様の体質に合わせてご用意ください
靴下・下着	日数分+1 セット	必要に応じて多めにご用意ください。
パジャマ	1 着	寝る時だけ着用します。 Tシャツ短パン可。
長袖・長ズボン (綿生地推奨)	最低 1 セット	火の粉・虫刺され対策含む。 長ズボンは 大山千枚田に行く際に必ず着用します。
タオル類	1〜2 枚	入浴後や汗拭きタオルとして使用します。
エコバック等	1 セット	お風呂場への移動時に荷物をいれる用
洗面用具	1 セット	歯ブラシセット (必須)
ビニール袋 (大きめ)	適量	汚れた服などを入れます。 袋にお名前の記載をお願いします。
ハンガー	2〜3 本	濡れた水着を干すのに使います。
軍手	2 双	磯遊び・里山遊び等で使用します。
室内履き	1 足	学校の上履き可。
新聞紙	朝刊 1 回分	靴が濡れた場合などに使用します。
帽子	1 個	ツバのある物。ハットタイプも可。
雨具	1 着	レインコート・ウェア・ポンチョ等 ※傘不可
筆記用具	—	鉛筆と消しゴムがあれば大丈夫です。
マスク	適量	必要な方はご用意ください。
常備薬	必要分	必要な方はご用意ください。
日焼け止め・虫よけ	必要分	必要な方はご用意ください。YMCA での用意はございません。
海遊びセット (以下の物をエコバック 等にひとまとめにしてご 持参ください)	1 セット	学校水着可。水着の上に Tシャツやラッシュ ガード・タイツなどを着用下さい。日焼けだ けでなくクラゲ対策にもなります。
スイムキャップ (必須)	1 個	学校で使用しているもので構いません。
ゴーグル (任意)	1 個	学校で使用しているもので構いません。
濡れてもいい靴	1 足	古いスニーカー・マリンシューズ推奨。 かかとの止まるもの可 (Crocs など)

海用タオル	1 枚	海からの移動時や、体をふく際に使います。 ラップタオル推奨。
小さいリュックに入れるもの（電車移動時に持っていくもの）		
ハンカチ・ティッシュ	日数分	
お子様用しおり	1 部	7 月 11 日頃に郵送でお送りいたします。
水筒		中身を入れてお持ちください。中身が無くなったら補充します。（ペットボトル不可）
1 日目のお昼ご飯		捨てられる容器でご持参ください

《確認事項》

- ・貴重品（携帯電話、財布、時計、カメラ、携帯ゲーム等）は、お持ちにならないようお願いします。
- ・出発日（キャンプ1日目）の昼食（お弁当）は現地到着後に食べます。
- ・おやつを持ち込みは出来ません。

6. グループについて

YMCA キャンプの基本は、少人数でのグループ生活にあります。4～7 名で1つのグループを作り、担当のリーダーと一緒に生活をします。その中でお互いの存在を認め合い、自分の役割を見つけていきます。キャンプ期間中、寝食を共にするのがこの生活グループです。グループ発表についてはキャンプ前にメールにてご案内します。

7. 指導者について

指導者は、YMCA 職員（ディレクター）とボランティアリーダーです。

＜ボランティアリーダーとは＞

ボランティアリーダーは、キャンプディレクターの面接を経た後、事前に野外活動の実技トレーニング、キャンプの安全や子ども理解などの座学トレーニングを受け、キャンプ毎に準備会を持って当日に備えています。リーダーはキャンプ中お子様と一緒に、プログラムだけでなく、寝食を共にし、参加をする子どもたちの身近な存在としてあらゆる場面で関わりを持ちます。その中ではお子様の成長と共に、リーダー自身も成長をしていきます。リーダーは、大学生や社会人、及びジュニアリーダー（高校生）で構成されています。

8. ブログサービスについて

キャンプ中のプログラム全体の様子をブログに掲載の写真でご覧頂けます。

- ・アクセス時、安全管理上パスワードが要求されます。パスワードは参加者様にしおり発送の封筒に同封してお送りを致します。
- ・ブログはパソコン、携帯電話のどちらでも閲覧することができます。
- ・更新回数は、概ね1日4回程度（昼食後・夕食後・就寝後）を予定しております。
- ・ブログサービスにけるお子様の写真使用に関して不都合のある方は、お手数ですが担当ディレクターまでお申し出ください。
- ・写真は携帯電話での撮影のため画像が粗い写真となります。予めご了承ください。

◆ブログアドレス <http://chibaymcablog.blog.fc2.com/>

※キャンプ解散連絡に使用するページも同じです。



※ F C 2（サービスプロバイダー）について

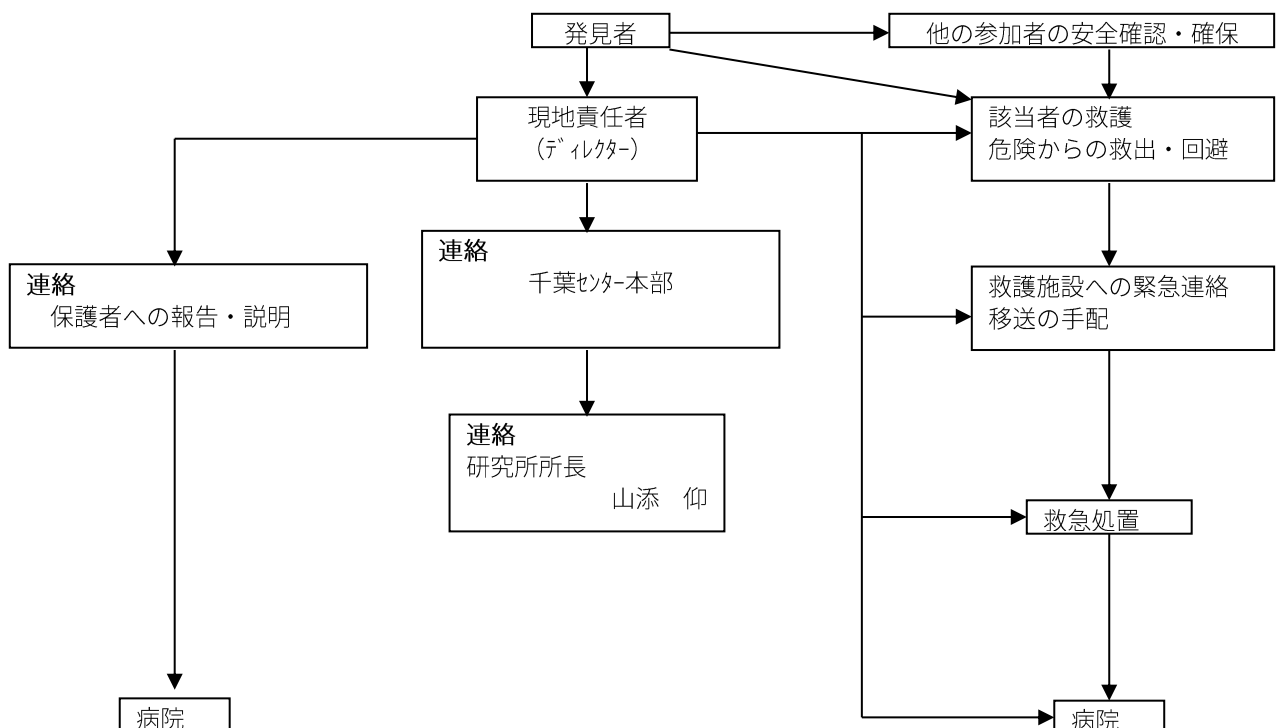
サービスプロバイダーである F C 2 は信頼のおけるプロバイダーです。個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、漏洩等を防ぐために、パスワード管理、バックアップ、管理、セキュリティ対策等を実施し、個人情報の安全管理の為に必要かつ適切な措置を講じています。F C 2 は無料サービスの為、広告がついていますのでみだりにアクセスしないようご注意ください。

9. 保護者の皆様へ（必ずお読みください）

1. キャンプ間際の病気やケガは、必ず完治した状態、もしくは医師の許可を得てからご参加ください。
2. 安全には十分注意を払っておりますが、万が一、事故が起きた場合には、現地責任者（ディレクター）より直接ご家庭までご連絡をいたします。
3. ご家庭からの緊急連絡は、現地責任者（ディレクター）の携帯電話までお願いします。プログラムの進行状況によっては、すぐに対応できない場合があることをご了承ください。宿泊施設への電話は、個人情報保護のためお取次ぎができません。
4. キャンプ期間中に病気や怪我が発生した場合、医師の判断によってキャンプ地までお迎えに来ていただくことがあります。また、キャンプ期間中の受診にかかった費用は、実費ご負担いただきますのでご了承ください。
5. YMCA は団体として傷害保険に加入しております。ケガなどには傷害保険から入院・通院のための費用が補填されます。（病気の場合は傷害保険の適用はされません。）傷害保険は、自宅を出てから自宅に戻るまでが対象となります。
6. キャンプ中に撮影した写真を、ブログサービス更新用、広報用に使わせていただく場合がございます。お子様の写真使用に関して不都合のある方は、お手数ですが担当ディレクターまでお申し出ください。

10. 緊急時連絡ルート

YMCA では緊急事態に備え、ディレクター・スタッフ一同、細心の注意を払っておりますが、万が一の場合に、以下のような緊急体制をとっています。



<災害等緊急時の連絡方法について> ※災害等緊急時のみ実施

災害等による緊急事態が発生した際には、その場所が最も安全であると判断した場合には現地に留まります。常時状況を確認の上、必要と判断した場合にはプログラム地から最寄りの指定避難場所等、より安全が確保されている場所へ移動いたします。また、状況に応じて本部より人員を派遣するなど、キャンプ全体が安全に戻って来られるよう、最大限の取り組みを致します。

また、保護者の皆様へ現地状況等の連絡について以下のいずれかの方法により適宜実施致します。

- ① キャンプブログにて状況報告
- ② 本部より連絡 : 043-222-3811
- ③ 現地ディレクター携帯電話より連絡
- ④ NTT東日本災害用伝言ダイヤル

ご利用の流れ: 「171」 → 「2」 → 「宿泊施設電話番号」入力

※ガイダンスに従い入力して頂きますとメッセージが流れます。

キャンプ名	ディレクター	電話番号
鴨川マリンキャンプ	松原 奈美 小林 和弘	090-4747-1634

一般財団法人 千葉 YMCA

千葉センター

〒260-0015

千葉市中央区富士見 2-5-15 塚本第3ビル 7階

TEL 043-222-3811

船橋地域デポ

〒273-0865

船橋市夏見 6-6-6

TEL 047-425-6366

